

《地籍調査事業》

3,109万円

内田雅人委員 県の補助金が、2,353万円減額となっているが、なぜ補助金が見つからないのか。そして今後の方向性は。

農林土木課長 全国的には調査の

終わりが見えてくる中で、予算が削られていくような流れがある。

本町では、先が長い道のりだが平成31年度くらいからのペースアップを見込み、予算獲得に向け努力していく。

《古民家改修整備事業》

284万円

藤原充博委員 備品購入とあるがどういうものか。また産業創出事業での実績見込みによる減の内容は。

地域振興課長 備品は、レンタル

オフィスとワーキングスペースに使用する机、イス、衝立が主なもの。

また、産業創出事業ではパッケージリニューアル等で2件100万円の予算に対し1件の50万円、新規事業参入300万円に対し219万円の交付が決定をされており、今回その差額を減額補正するものだ。



レンタルオフィスとワーキングスペースが整備される古民家(旧景山邸)

《耐震性貯水槽設置事業》

531万円

土屋武雄委員 耐震性貯水槽設置の請負工事の増額は何箇所分か。

また、工事変更の内容は。

総務課長 工事箇所は3カ所で、

防火水槽タイプの変更、水路の敷設替え、防火水槽回りの舗装面積の変更が主なものだ。

《災害復旧費》

2億3,457万円

土屋武雄委員 9月、10月の災害査定は終わったか。

建設課長 公共土木施設災害では、全体で38カ所あるが、うち23カ所は査定が完了している。道路が7カ所、河川が16カ所だ。残り15カ所については平成30年の1月中旬に終わる予定だ。

農林土木課長 農林業施設災害については、12月26、27日で5カ所査定を受けて終了する予定だ。

平成29年度
特別会計補正予算

水道事業(第2号)

藤原充博委員 水道事業基金残高が昨年度から今年度にかけて非常に増えているがその理由は何か。

水道課長 水道事業基金の現在残高は4,568万円で、平成27年度から28年度で1,500万円あまり増えている。これは消費税の過年度還付金を積み立てたものである。今後とも還付を受けた場合にはできるだけ基金に積み立てたい。